

埋蔵文化財の活用①

生涯学習課では、遺跡発掘調査や出土品の整理・収蔵・展示などについて、多くの市民の方々に活用していただけるような取り組みを実践しています。

普及・啓発活動（遺跡見学、体験学習）

平成 29 年 8 月 18 日（金）、社会教育係主催「こだま夏休み企画～きみも考古学博士になろう！～」が開催され、市内小学生 5・6 年生 10 名が参加しました。

遺跡整理事務所で、石船戸遺跡出土品の整理作業の体験を行いました。今回の体験学習では、①土器をくっつける「接合作業」、②土器の模様を魚拓のように墨で写しだす「拓本作業」、③プロのカメラマンのようにきれいに土器の写真を撮る「写真撮影作業」にチャレンジしました。

ドイツ・チュービンゲン大学から研修に来ている留学生 2 名も、子供たちと一緒に体験に参加しました。最初は戸惑っていた子どもたちもすぐに慣れて、仲良く体験に取り組んでいました。

当日はNSTの取材もあり、夕方のニュースで放送されました。



平成 29 年 9 月 8 日（金）、「いせきへGO！」というテーマで、新潟大学附属新潟小学校 1・2 年生 15 名が村北遺跡と遺跡整理事務所を見学しました。

村北遺跡の見学では、はじめての発掘調査現場に少し緊張気味でしたが、土のなかから出土している土器や石器を見て、とても興味を持ったようです。出土品の展示見学では、本物に触れる機会も持ち、調査担当者にたくさん質問をしていました。

遺跡整理事務所では、報告書に載せる実測図を見て、どの土器か探すクイズに挑戦しました。みんな真剣に土器を観察する姿がとても印象的でした。

子どもたちは、今回見学して学んだことをもとにして、これから授業で土器づくりに挑戦するそうです。

